

パノラマエックス線写真を用いた X 連鎖性低リン血しょう性くる病における歯科症状の定量評価に関する研究

1. 研究の対象

- ・ 「パノラマエックス線写真を用いた小児低ホスファターゼ症における歯科症状の定量評価」（承認番号 H29-E26）（研究期間 2017 年 11 月 10 日～2020 年 3 月 31 日）に参加いただいた方のうち、全身疾患に罹患していない患者さん
- ・ 「パノラマエックス線写真による歯科症状の定量評価」（承認番号 R3-E9）（研究期間 2021 年 7 月 21 日～2026 年 3 月 31 日）に参加いただいた方
- ・ 本研究の実施について倫理審査委員会の承認を受ける以前にパノラマエックス線写真を撮影した X 連鎖性低リン血しょう性くる病の患者さん

2. 研究目的・方法

目的： X 連鎖性低リン血しょう性くる病の患者さんの歯科症状を定量的に評価することと、全身の治療法が口腔領域に及ぼす影響を評価することを目的としています。その際に、X 連鎖性低リン血しょう性くる病の患者さんと健康な方と比較する必要があります。まず、健康な方のパノラマエックス線写真から、象牙質形成不全の評価法を確立します。そして、パノラマエックス線写真を用いて、X 連鎖性低リン血しょう性くる病の患者さんの歯と顎の骨の状態について調べます。

方法：

象牙質形成不全の評価法の確立

健康な方 250 人のパノラマエックス線写真において、歯全体における歯髓腔（神経が入っている部分）の面積を測定します。歯全体における歯髓腔面積の割合の年齢ごとに平均値を算出して、年齢別基準値を設定します。

XLH 患者における象牙質形成不全の評価

当院小児歯科されている X 連鎖性低リン血しょう性くる病と診断された患者さんのパノラマエックス線写真において、歯全体における歯髓腔の面積を測定し、健常児の年齢別基準値と比較します。

全身的治疗法の歯科的影響

X 連鎖性低リン血しょう性くる病と診断された患者さんにおいて、上記の方法で得られたデータと患者の診療録より抽出した医科的情報、歯科的既往歴と照会し、全身的治疗法（従来治療、新規治療）の歯科的影響を検討します。

研究期間： 研究機関の長の許可日～2026 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、パノラマエックス線撮影時年齢、歯式、歯科症状、歯科治療 等

試料：パノラマエックス線画像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府吹田市山田丘 1-8

TEL 06-6879-2962

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室

研究責任者：大阪大学歯学部附属病院小児歯科 大川玲奈